

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会 報



会 長 多 賀 学 昭
副会長 川 上 幸 子
幹 事 坂 田 師 通

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第 2333 回 令和 7 年 2 月 27 日プログラム

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. 外部卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 点 鐘 |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『共に語り、共に栄え、共に未来への種を蒔こう』

第 2730 地区ガバナー 笹 山 義 弘

中部グループガバナー補佐 戸 高 勝 利

RI 会長テーマ 『ロータリーのマジック』

第 2730 地区テーマ

『ロータリーのマジックで、ロータリーを楽しもう』

2 月の月間テーマ

平和と紛争予防/紛争解決月間

本日の例会案内

- *外部卓話—高鍋税務署長 中村茂人様
- *100 万ドルランチ BOX
- *例会終了後プログラム委員会

次週例会案内 ; 3 月 6 日 (第 2334 回)

- | | |
|------------|------------|
| *月初めのセレモニー | *雑誌紹介 |
| *米沢訪問報告 | *米山ランチ BOX |
| *例会終了後理事会 | |

第 2332 回 例会内容 (2/20)

□会長の時間

副会長 川上 幸子君

皆さん、「こんにちはご機嫌麗しゅう存じます。」これは宮中で使われていた言葉だそうです、今は東京の山の手の言葉だそうです。ちょっとこの言葉を使ってみたく言ってみました。(笑)

今日はまたしてもの代打、謹んでお受けいたしました。

先ほど私は熊本から帰って来たのですが、熊本へは日本フィルハーモニー交響楽団の 50 周年のコンサートに行ってきました。驚いたのは会場は満席で結構年齢層が高いという事でした。この日本フィルは地元の有志の方でまたは企業で支えられているという事を知りました。50 年間地元の皆様とともにあった！多賀会長もモーツァルト音楽祭を支えてこられていますが、これは繋げていくべき伝統に残る素晴らしい事だと思います。皆さん応援していきましょう！

演目はエルガーの「威風堂々」あのとても元気の出る音楽です。(^^) そしてピアニスト仲道郁代さんをおむかえしてのピアノコンチェルト「ショパンのピアノ協奏曲第 1 番」チャイコフスキー交響曲第 5 番でした。指揮は日本フィル首席指揮者カーチュン・ウォン、シンガポール



出身の 39 歳！この若さで首席指揮者！とても楽しい指揮をしてくれて思わず指揮者に見とれてしまうくらいそれに何と言っても指揮者がスニーカーとは驚き桃の木山椒の木でした(笑) 一遍に心を奪われてしまいました。

今日は会長幹事も欠席副幹事も欠席、幹事を前幹事が務めるという高鍋ロータリー始まって以来の 50 周年を前に記念すべき日となりました。

先週お休みしたのは私が所属する経営者の団体「宮崎県中小企業家同友会」というのがありまして、その第 34 回県フォーラムに参加するためだったのですが、同友会にはもうかれこれ入会して 24 年くらいになります。黒木町長は 34 年くらいでしょうか？経営者の団体で経営を生の報告で学ぶ所なのですが、今回のフォーラムは 3 分科会あり、経営報告を聴いてグループ討論をするのですが、そのグループ討論のテーマが「自社において改善したい社風(価値観、習慣、雰囲気など)はありますか？それをどう改善していきますか？」でした。グループの中で社風とは文化であり、風土文化を刷新していくことも課題だ！と仰る方がいらして、遠藤功さんの本の中に書いてあったと言われ、早速調べてみました。

遠藤氏は、「個の力を発揮する環境がない、というのはおかしい話ですよ。こうした課題の背景にあるのは、カルチャーへの無関心です。」と語る。カルチャーを日本語に表すと、組織風土、組織文化と言い換えることが出来る。多くの日本企業に共通する経営テーマに「イノベーション(新たな価値創造)」「エフィシエンシー(経営効率の最

大化)がある。この2つは多くの経営者が認識しているテーマだが、「カルチャー(風土・文化の刷新)」を経営課題として捉えている経営者は少ない。経営改革を進めるためには、この3つのトライアングルを意識して取り込むことが大切だ。

「大事なのはカルチャーを変革することによって現場で働く人々に力を発揮してもらい、それを組織の力にまとめあげ、競争力を高めて業績を向上させることです。そうすれば従業員の給料も上がり、会社の価値も向上し、この国のステータスも上がっていくはず」

「組織文化とは、成功するためにみんなが大事だと信じることであり、そしきの歴史の中から生まれるものです。そして、組織力とは、大切だと信じていることをみんなで実践する力のことです。組織風土、組織文化、組織能力を3段階重ねの跳び箱のように積み上げることで、強い組織をつくることができます。」

カルチャーを変革し、しっかりと根付かせるためにはどうすればいいのか? トップダウンでは生まれない。『自分たちで変えるんだ』と主体的に行動する人を現場に増やしていかなければならない。そして、まずは組織風土を変え、組織文化を高め、現場力という組織能力をもう一度磨き上げる。その先に、持続的な競争力を得ることができる。」

現場の主体性を高めるには、失敗を恐れず積極的に挑戦する風土をつくっていくことが必要不可欠だ。「カルチャーは小さな行動の積み重ねでつくられる」きちんと挨拶をする、何かをしてもらったら「ありがとう」と伝える、頑張っている人をたたえる、困っている人がいたら助ける、間違っていたら謝る。こういった何気ない行動を従業員の一人ひとりができるかどうか、組織風土を変える第一歩となる。

「人間には3つのタイプがいる。良いカルチャーをつくる人、良いカルチャーを壊す人、そして良いカルチャーを無視する人です。一番厄介なのが無視する人で、組織の中にも多くいる。組織風土を変えるためには壊す人、無視する人を良いカルチャーをつくる人に変えていかなければなりません。そのためにも、小さなことから積み上げていくことが必要だ。

今、日本企業の多くが主体性を発揮できない組織になっている。企業が成長するためには、主体的に行動してチャレンジする従業員を増やし、彼らが活躍できる環境をつくっていかなければならない。他社がまねできないような独自性の高いカルチャーをつくり、現場力を高めていくことが再生のためには不可欠!」

高鍋ロータリークラブの皆さん来年は50周年事業があります。さらに組織力を高め、高鍋ロータリークラブ文化をつくっていきましょう。

今日もロータリーをお楽しみください。

□幹事報告<文書案内> 直前幹事 岩本 正志 君

※宮崎地区 RYLA 開催案内

日時 2025年4月5日
10時~16時

会場 青島青少年自然の家

締切日 3月7日

※児湯准看護学校卒業式のご案内

日時 2025年3月5日水
午後2時~

場所 児湯准看護学校



□米山奨学生奨学金授与



□米山奨学生近況報告

鐘 梓軒 君

こんにちは、ショウです。
お久しぶりです。皆さんはお元気ですか。近況報告をさせていただきます。

5年ぶりに中国で旧正月、つまり春節を過ごしてきました。春節は除夜から旧15日の元宵節(げんしょうせつ)

迄です。16日間と長いのですが、中国の学生の冬休みは春節を含んで、一ヶ月ぐらいの休みがあります。仕事をする人の場合ですと、休みは主に除夜から旧7日まで、実家に帰って家族と過ごします。そして、旧15日に一年の初満月の夜に元宵節を迎えて春節は終了です。元宵節に街が色んな灯籠で飾り付けられるので、元宵節も灯籠の祭り、Lantern Festivalと呼ばれています。人々は、この日に「湯円」または「元宵」という甘い味がするあんこ入りのもち団子を食べて祝います。

私の実家の広東省では他の省から働きに来た人が多くて、春節の休み中、多くの人が帰省して、営業しているお店も少なく、街中は静かです。実家にいる時、ほぼ毎日、身内の人と、朝ご飯と昼ご飯合わせて飲茶に行き、午後は麻雀とかして過ごしました、楽しかったです。

今回はちょうど一番寒い時期に実家に帰りました。と言っても、曇っている日に気温が10度ぐらい、一週間だけ続きました。その後に晴れてきて、すぐ暖かくなりました。一日の平均気温が15度ぐらいで、昼間と夜の温度差が小さくて気持ち良かったです。もし遊びに行きたいなら、夏の暑さを避けたこの時期が一番おすすめです。



先週の火曜日に宮崎に帰ってきて、大学の送別会と鹿児島で米山奨学生の終了式に参加させていただき、同期の友達と話せて楽しかったです。来月の24日に学位授与式で学位をもらいましたら、もう中国に帰る予定です。
就職先はまだ決まっていますが、楽しみにしています。 以上は今回の発表内容でした。

□外部卓話 新田原基地司令 大嶋 善勝 様



講師紹介 後藤正弘君

□BOX披露 親睦活動委員長 高橋 康朗 君
＜ニコニコ・財団・米山BOX＞

【井上博功君】大嶋基地司令をお迎えして。今日は宜しくお願いします。
【長濱博君】大嶋団司令をお迎えして。本日は卓話を宜しくお願い致します。
【甲斐宏昌君】大嶋司令本日の卓話宜しくお願いします。



□出席報告 出席委員長 児玉 幸則 君

出席状況報告 (2/20)

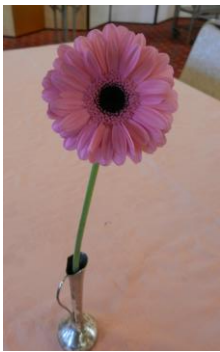
会 員 数	38 名
出席 会 員 数	25 名
ホーム出席率	69.44%
修正出席率	86.11%



ソングリーダー川上君



ピアノ演奏 森さん



テーブルの花



本日の食事

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。
第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。